

築地本願寺内 東京ビハーラ主催

第21回がん患者・家族語らいの会・オンライン講演会

講師:大谷 巖氏(患者・遺族)

講題:『妻からのおくりもの～今を生きる』

日時:2022年2月12日(土)14時～16時半 参加費:無料

【講師プロフィール】

1943年生まれ。東京都立大学法経学部経済学科卒業後、株式会社紀伊國屋書店に入社。営業、監査部門、常勤監査役退任後、地域で民生委員、老人クラブ役員等を務める。2010年妻が卵巣がんで他界。2018年に自身も進行性前立腺がんと診断されて現在治療中。精神疾患の一人息子と日々を過ごす。

【講話の内容】

<前半> 妻からのおくりもの

1. がん告知と手術
2. 再発・脳への転移
3. わらをもつかむ—あらゆる手立ての模索
4. つかの間の桜見物、ホスピスへの転院
5. 心を病む一人息子への告知
6. 家族の絆
7. 心に残るホスピスの人々
8. 臨終
9. 妻からの忘れられないおくりもの

<後半> いまを生きる

1. 人間ドック・がん告知・ホルモン療法
2. ベストの選択を求めて—2つの出会い
3. 直面する3つの山
4. 今を生きる



第21回オンライン講演会にご参加をご希望される方は、下記をご参照の上、お申込みをお願い致します。参加方法:参加を希望する方は、①氏名 ②携帯電話番号 ③お持ちの(パソコン、タブレット、スマホ等④講演会参加のきっかけ)について入力の上、下記のアドレスまでご返信下さい。

申し込み先: 浄土真宗東京ビハーラ 担当事務局太田うらら urara.ota@gmail.com

問い合わせ先: 浄土真宗東京ビハーラ 平日 14時～17時 TEL/FAX: 03-5565-3418

参加締切日: 2022年2月10日 (木)